

よい成果を求めて

中条中学校長 中島 喜久雄

「よい習慣を育む」ことを中核に学校の活性化を目指してスタートしました。知育では、思考し表現力を高めることと家庭学習の習慣化を、徳育では、挨拶・返事と環境美化を中心に優しい言動を、体育では、体力の向上と健康の保持増進（早寝・早起き・朝ご飯）に力を傾けた教育を進めています。

9月の第2回学校評議員会では、学習様子や部活動、挨拶に朝食・睡眠時間など、広くご意見をいただきました。そして、教師・生徒評価及び保護者の方の評価による改善をも含め、活気のある学校を目指して充実した教育を展開していきます。

1学期末の学校評価成果

知育

★目標1 アンケートで「友達と話し合うことにより、自分の考えを深めることができた」と答える生徒の割合を80%以上
A評価 80%以上 B評価 60%以上80%未満 C評価 60%未満

◇1学期の取組み

- ・基礎・基本の定着を図るために、研究推進委員会を中心に研修会を1学期に3回実施した。
- ・思考させて表現させる課題や活動をさせるための指導過程を工夫した授業を各教科、単元で行った。
- ・4月から毎月、アンケートを実施し、生徒の様子を把握した。

1学期末 ⇒ A 評価

◇1学期の成果

- ・アンケートから91%の生徒が「友達と話し合うことにより、自分の考えを深めることができた」と回答している。

◇2学期以降に向けての改善点

- ・「思考力・表現力」を育てる指導過程を積極的に授業に取り入れる。
- ・一人1回は授業公開を行い、指導力の向上を図る。
- ・全職員参加による研究授業、研究協議を実施する。



★目標2 アンケートで「週4日以上、1時間以上の家庭学習をする生徒」と答える生徒の割合を70%以上
A評価 70%以上 B評価 60%以上70%未満 C評価 60%未満

◇1学期の取組み

- ・全校集会を開き、学習指導主任・各教科主任から学習の仕方や授業の受け方、ノートの使い方などを説明した。また、自学ノートの使い方を指導し家庭学習の大切さを指導した。
- ・月末のアンケートを4月から4回実施し、生徒の学習に対する実態を調査した。
- ・基礎学力向上テストと定期テストにあわせて、家庭学習強調週間を2回実施した。

1学期末 ⇒ B 評価

◇1学期の成果

- ・毎月のアンケートから「週4日以上、1時間以上の家庭学習をする」と答えた生徒の割合は66%であった。

◇2学期以降に向けての改善点

- ・家庭学習の習慣化を図るには、自学ノートの使い方を、生徒の能力に応じてより細かく指導する必要がある。新しい2学期用のノートを配布する際に「学習内容」の書かれたプリントも一緒に配布し、指導を行う。
- ・中条中学校区取り組みとして、小中連携した「家庭学習強調週間」を実施する。
- ・保護者の協力を得るために学習アンケートの結果を学校たよりや学年たよりで知らせていく。

徳育

★目標1 年間を通して、「相手のことを考えて行動できた」、「場に応じた言動がとれた」と答える生徒の割合を80%以上
A評価 80%以上 B評価 70%以上80%未満 C評価 70%未満

◇1学期の取組

- ・生徒会活動や体験活動と関連づけた道徳の授業やより良い人間関係を築くことができるスキルトレーニング（コミュニケーション・ソーシャル）を各学年1回実施した。
- ・生徒会による朝のあいさつ運動を実施した。
- ・月末のアンケートを4月から4回実施し、生徒のあいさつに対する実態を調査した。

1学期末 ⇒ A 評価

◇1学期の成果

「相手のことを考えて行動できた」・「場に応じた言動がとれた」と答えた生徒の割合は92%であった。

★目標2 諸活動やその前後の活動をしっかり取り組み、満足感や達成感を得る生徒の割合を80%以上

A評価 80%以上 B評価 70%以上80%未満 C評価 70%未満

◇1学期の取組

- ・体育祭・合唱コンクール等の活動において、「周囲と協力して取り組む」という意図を踏まえて計画・実施した。
- ・毎月の職員会議で、取り組んでほしい観点を提示し、確認した。

◇1学期の成果

- ・諸活動やその前後の活動をしっかり取り組み、満足感や達成感を得た生徒の割合は95%であった。

◇2学期以降に向けての改善点

- ・あいさつ運動を中学校区の小学校と連携し、生徒会中心に進める。
- ・ソーシャルスキルトレーニングを続けていく。
- ・生徒会活動や体験活動と関連づけた道徳の授業やその授業を充実させるための研修会を予定どおり進めていく。
- ・生徒に「周囲と協力して取り組む」意識を持たせるよう、道徳部を中心に積極的に働きかけていく。

「1学期末 ⇒ A評価」



体育

★目標1 各学年男女とも体力テスト3種目(握力・立幅跳・ハンドボール投げ)の記録が県平均を上回る

2種目以上の学年が A評価 全学年で B評価 2つの学年で C評価 1つの学年で

◇1学期の取組

- ・体育授業で補強運動(筋力、瞬発力を高める運動)を毎時間実施した。
- ・部活動では文化部を含め、各部に応じた体力づくりを毎日実施した。
- ・体育授業での補強運動の取り入れ方を一部単元で見直し、実施した。

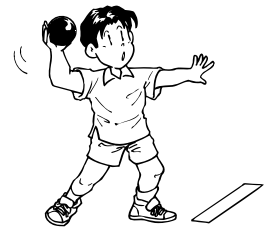
◇1学期の成果

- ・1、2年生で1種目(ハンドボール投げ)しか県平均を上回ることができなかった。

◇2学期以降に向けての改善点

- ・授業や部活動で体力向上の取り組みを継続するとともに文化部でも体力づくりに取り組ませて、10月の再テストでの向上を目指す。

「1学期末 ⇒ C評価」



★目標2 生活習慣の改善がなされ、朝食・睡眠などの良い習慣が定着している生徒

① 毎日朝食を食べる生徒が90%以上

A評価 90%以上 B評価 80%以上90%未満 C評価 80%未満

「1学期末 ⇒ B評価」

② 毎日12時前に就寝する生徒が70%以上

A評価 70%以上 B評価 60%以上70%未満 C評価 60%未満

「1学期末 ⇒ B評価」

◇1学期の取組

- ・「生活習慣振り返りカード」により、生徒自身が自己評価する取り組みをした。保護者にも知ってもらうために、カードの持ち帰りを1学期末に1回行った。
- ・毎月、生活習慣振り返り日を設定し、生活の様子を振り返るなど改善につながるよう指導した。
- ・「生活習慣振り返り」の結果を毎月の「保健だより」に載せ、全校に伝え、意識付けた。

◇1学期の成果

- ①毎月の振り返りより「朝食を毎日食べる」割合は平均89%であった。
- ②毎月の振り返りより「12時前に寝る」割合は平均69%であった。

◇2学期以降に向けての改善点

- ・生活習慣振り返りを今後も継続実施していく。また、保健委員会の活動ともタイアップさせることで生徒の意識をさらに高めていく。
- ・生活習慣改善に向けて養護教諭と学担でTTによる学級指導を実施する。さらに学級担任から資料を基に学級指導を行う。
- ・朝食を食べるよう保健だよりでの呼びかけを継続する。
- ・カードを持ち帰り、保護者から生活習慣の改善を支援することについては2学期(11月)にも実施の予定。